



学校教育目標

自ら学び、粘り強くやりぬく児童の育成

目指す学校像

やる気みなぎる「楽しい」学校

学校

目指す教師像

目指す児童像

学びたい！知りたい！関わりたい！

- ・児童一人ひとりを大切にする教職員
- ・学び続ける姿勢を忘れず、互いに学び合い高め合う教職員
- ・保護者、地域から信頼される教職員

- ・進んで学習に取り組み、確かな学力をもった子
- ・人との関わりで言葉を大切に使い、思いやりの心をもった子
- ・健康で明るく自らを鍛えるたくましい子

学校経営の重点

1 学習意欲を高め、確かな学力の定着を図る。

2 一人ひとりを認め、自己肯定感を育成する。

3 体力の増進と安全・安心な学校づくりに努める。

4 学校・家庭・地域と共にある学校を作る。

5 「チーム木間ヶ瀬」による明るい職場を作る。

- ☆ ユニバーサルデザインの視点で授業を見直し、児童に「学びたい！」「知りたい！」という思いが生まれるような魅力ある授業づくりを目指す。
- ☆ 児童の学習状況を把握して、指導形態を工夫したり、いつでもわからないことを聞いたりできる指導体制を作る。(スタディルーム・スタディタイムの活用)
- ☆ 読書活動を充実させるために、図書室利用の機会を増やす。
- ☆ 自ら「学びたい！」という思いを高めるような内容に取り組みせ、家庭学習の質的・量的向上を目指す。

- ☆ 人との関わりの中で、「言葉」を大切にすることを意識させる。
- ☆ 気持ち良い元気な挨拶、返事ができるように継続的に指導する。
- ☆ 様々な人に対して「知りたい！」「関わりたい！」と思えるよう、ICT 機器等を活用した他校や校外の方との交流の場を増やす。
- ☆ 学級への所属感を大切に、認め、励まし、褒め、自己肯定感を育てる。
- ☆ 全ての教育活動を通して、違いを認め合える思いやりのある優しい子どもを育てる。
- ☆ よりよい学校にするため、自ら考えて行動することを意識させる。

- ☆ 児童一人一人に健康の重要性を理解させ、体を動かすことの楽しさやよさを実感できるように指導を工夫する。(体育科授業の充実・木小タイムの外遊び奨励)
- ☆ 日々の安全指導を徹底したり、安全な学校環境の確保に努めたりして、交通事故、校内事故防止に努める。
- ☆ 「いかのおすし」を常に意識させ、不審者に対して、適切な対応がとれるように継続的に指導する。

- ☆ 地域や家庭が、教育活動により理解を深めていくために、ホームページや学校だより等、学校からの情報発信を積極的に行う。
- ☆ 教育活動を参観する機会を設けることにより、開かれた学校を築き、学校・家庭・地域の連携を深める。
- ☆ 地域の人材を生かした学習に取り組み、地域に根ざした学校づくりをする。
- ☆ 小中連携、幼小連携を深めていく。

- ☆ 「チーム木間ヶ瀬」のスローガンのもと業務の効率化を図り、対話を重視した明るい職場作りに努める。
- ☆ 当事者意識を高く持ち、不祥事は起こさないように研修を重ねる。(ボトムアップ型の研修)
- ☆ 毎週木曜の「ノー残業デー」を遵守したり、「定時退勤宣言デー」をカレンダーに記載したりして、時間外勤務の短縮を図る。
- ☆ 報告・連絡・相談・報告を徹底し、機動力のある校内組織をつくる。
- ☆ 全職員で児童観察の充実を図り、問題行動等の早期発見、早期解決にチームで対応する。

地域

家庭